

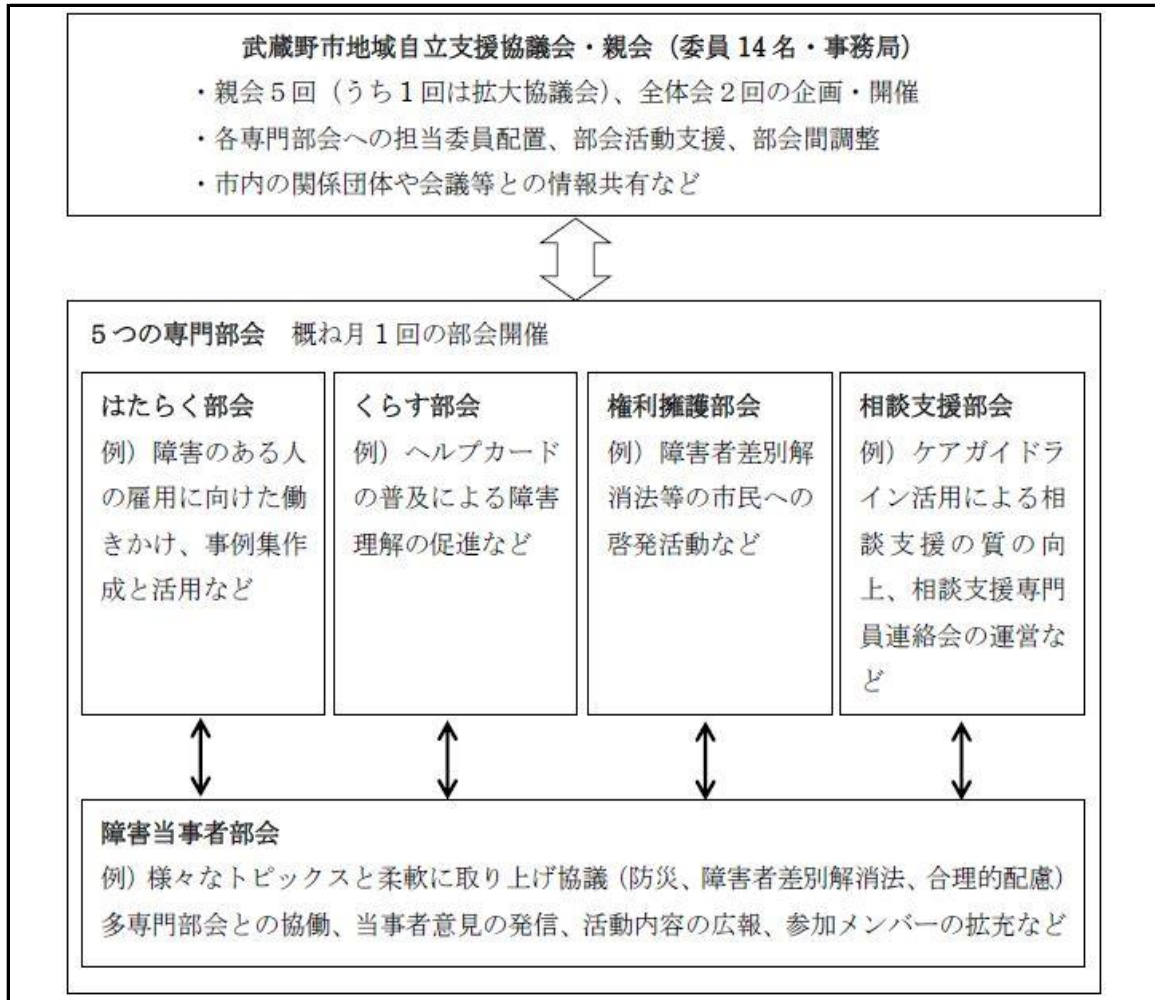
武蔵野市

【名称】 武蔵野市地域自立支援協議会

【設置年月】 平成20年4月

【運営方法】 直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行	地域定着		
設置済	3	3	3	9	5

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
整備中	令和元年度中	多機能拠点整備型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

(1) 日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
開設予定あり	令和2年12月

(2) 自立支援協議会への日中サービス支援型共同援助に関する事業報告・評価状況

設けている

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
7	14 (2)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
はたらく部会	8	13 (1)
くらす部会	9	14 (2)
権利擁護部会	11	12 (2)
相談支援部会	10	12 (1)
障害当事者部会	12	9 (5)

※「委員数」の():当事者の立場で委員に就任されている方の人数(再掲)

【全体会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	0	保健所	1
教育関係機関	0	雇用関係機関	0	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	2	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	1
障害福祉サービス等事業者	5	社会福祉協議会	1	法曹関係者	1
民生・児童委員	1	地域住民	1	行政職員(区市町村)	0
行政職員(都)	0	その他	0		
合計		14			

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1		荒武 慎一	特定非営利活動法人ゆうあいセンター理事	障害福祉サービス等事業者	
2	会長	岩本 操	武蔵野大学人間科学部人間科学科教授	学識経験者	
3		植村 由紀彦	社会福祉法人武蔵野地域生活支援センターびーと施設長	相談支援事業者	
4		久保田 聡	明日の風法律事務所弁護士	法曹関係者	
5		佐藤 清佳	武蔵野市民生児童委員協議会第二地区会長	民生・児童委員	
6		柴田 修子	市民公募委員	地域住民	
7	副会長	高澤 勝美	社会福祉法人武蔵野障害者支援施設準備室長	障害福祉サービス等事業者	
8		田村 晃一	社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会係長	社会福祉協議会	
9		照沼 潤二	社会福祉法人武蔵野千川福祉会千川おひさま幼児教室所長	障害福祉サービス等事業者	
10		福田 暁子	武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会員	障害当事者・家族・関係団体	
11		福本 千晴	武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会員	障害当事者・家族・関係団体	
12		藤原 千秋	東京都多摩府中保健所保健対策課課長代理	保健所	
13		三浦 明雄	社会福祉法人おおぞら会あすはKids管理者	障害福祉サービス等事業者	
14		森 新太郎	特定非営利活動法人ミュー統括施設長	障害福祉サービス等事業者	

(2) 活動内容

- ◆ 地域リハビリテーションの理念に基づき「武蔵野市障害者計画・第5期障害福祉計画」の推進主体としての役割を担うとともに、計画全体の点検・評価に取り組む。
- ◆ 障害者差別解消法の施行に伴い、障害の理解促進、合理的配慮の考え方の普及啓発に向けて積極的に発信していく。
- ◆ 障害当事者・家族及びサービス事業従事者の活動を超えて、広く地域福祉の視点に立ち、多様な人々との連携と共生社会の実現に向けた地域の醸成を目指す。

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

部会 種別	はたらく部会	くらす部会	権利擁護部会	相談支援部会	障害当事者部会
学識経験者	0	0	0	1	0
医療関係者	0	0	0	0	0
保健所	0	0	0	1	0
教育関係機関	0	0	0	0	0
雇用関係機関	0	0	0	0	0
企業	0	0	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	1	2	2	1	5
身体・知的障害者相談員	0	0	0	0	0
相談支援事業者	0	0	0	3	0
障害福祉サービス等事業者	9	8	7	5	4
社会福祉協議会	2	0	0	0	0
法曹関係者	0	0	1	0	0
民生・児童委員	0	1	0	0	0
地域住民	0	1	0	0	0
行政職員(区市町村)	1	2	2	1	0
行政職員(都)	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	13	14	12	12	9

(2) 活動内容

部会名称	活動内容
はたらく部会	障害のある人の雇用に向けた働きかけなど 例:障害者雇用出前講座の開催など
くらす部会	ヘルプカードの普及による障害理解の促進、地域交流など 例:地域福祉の会での広報、地域福祉の会と障害福祉サービス事業所への施設見学など
権利擁護部会	市民への障害理解の啓発活動など 例:ふれあいカフェ(座談会)、虐待防止学習会など
相談支援部会	相談支援の質の向上など 例:「相談支援専門員連絡会」の企画・運営・開催 「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に伴う支援のあり方と介護保険部門との連携について」協議及び勉強会の開催
障害当事者部会	派遣先の専門部会の活動内容の共有、専門部会の活動に対する意見集約、様々なトピックスを柔軟に取り上げ協議することなど 例:あったかまつりでの模擬選挙など

【地域協議会の活動状況】

1 協議会の協議事項

① 相談支援事業の運営体制に関すること

相談支援部会連携して協議
「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に伴う支援のあり方と介護保険部門との連携について」協議し、高齢者部門スタッフを招いて勉強会を開催

② 就労支援に関すること

はたらく部会と連携して協議
障害者雇用に係る事業所向け「Q&A事例集」の作成、活用促進
市民向け出前講座(障害者雇用に関する情報発信、情報共有)の実施など

⑦ 社会資源の開発及び改善に関すること

くらす部会と連携して協議
地域福祉の会への障害理解の促進など
はたらく部会と連携して協議
障害者雇用に係る事業所向け「Q&A事例集」の作成、活用促進、市民向け出前講座(障害者雇用に関する情報発信、情報共有)の実施など

⑧ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること

権利擁護部会と連携して協議
ふれあいカフェ(住民と障害当事者との座談会)、学習会の開催、虐待チェックリスト作成と活用など

⑩ 障害福祉計画等に関すること

平成29年度武蔵野市障害者計画・第5期障害福祉計画について、本協議会が計画策定委員会を兼務した。それを受けて、平成30年度は計画の進捗管理・調整等行う。

⑪ 協議会の運営に関すること

これまでの協議会活動の振り返りを通して、今後の協議会の役割や活動の方向性を検討

⑬ その他

当事者意見の発信など

2 協議会としての役割

② 情報共有・情報発信

親会は年2回の全体会、1回の拡大協議会を通して他の専門部会の活動を知り、部会間連携を支援する。専門部会は地域住民へセミナーや講座を開いて障害理解の促進をする。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に伴う支援のあり方と介護保険部門との連携について」協議し、高齢者部門スタッフを招いて勉強会を開催するなどし、制度移行の課題を共有した。

⑤ 地域課題の整理

当事者が実際に余暇を行って発見するバリアや、地域住民との交流セミナー等を実施して出る意見など、より市民目線の課題を検討している。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

平成29年度武蔵野市障害者計画・第5期障害福祉計画について、本協議会が計画策定委員会を兼務した。それを受けて、平成30年度は計画の進捗管理・調整等行う。

⑨ 構成員の資質向上・研修の場

各部会でテーマを設定し研修会や学習会を開催するなど。

⑩ 権利擁護・虐待防止

ふれあいカフェ(住民と障害当事者との座談会)、学習会の開催、虐待チェックリスト作成と活用など

⑪ 相談支援過程における評価(相談支援の質の評価、機関等及びそれらの連携に関する評価、施策に関する評価、政策作成に係る提言)

「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に伴う支援のあり方と介護保険部門との連携について」協議し、対応フロー作成に取り組んだ他、相談支援専門員連絡会における意見交換などを通して、相談支援の質の向上を図っている。

3-1 協議会における地域課題

あがっている

3-2 地域課題の把握方法

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ、又は取り組んでいる内容

① 相談支援の質及び量

相談支援専門員ガイドライン、個別性のあるアセスメントに向けた問いかけ集の活用や、相談支援専門員連絡会の開催など
「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に伴う支援のあり方と介護保険部門との連携について」協議し、高齢者部門スタッフを招いて勉強会を開催するなど

② 社会資源の開発及び改善

地域福祉の会との地域交流などを通して新たな地域課題の発見や、地域の人々に障害についての周知や啓発を行うことで、地域で暮らしていける土壌を作るなど

③ 権利擁護・虐待防止

ふれあいカフェ(住民と障害当事者との座談会)、学習会の開催、虐待チェックリスト作成と活用など

④ 高齢福祉分野との連携

「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に伴う支援のあり方と介護保険部門との連携について」協議し、高齢者部門スタッフを招いて勉強会を開催するなど

⑥ 緊急・災害対応

災害時の対応方法についてなど
地域の総合防災訓練でトリアージ訓練や、ヘルプカードを用いた対応がスムーズに進むためにはどうすればよいか検討した。

⑦ 医療的ケア

当事者意見の発信
医療的ケアを要する障害者への対応など、市内に新規に開設する施設にその対応ができないか検討した。

⑧ 障害児支援

各部会から課題として挙がってきている子ども分野との連携について、検討している。

⑨ 教育支援

各部会から課題として挙がってきている教育分野との連携について、検討している。

⑩ 就労支援

障害者雇用に係る事業所向け「Q&A事例集」の作成、活用促進、市民向け出前講座(障害者雇用に関する情報発信、情報共有)の実施などを通じてアンケートを実施し、挙がってくる課題について検討している。

⑪ 地域移行・地域定着支援

くらす部会と連携して協議
地域福祉の会との地域交流などを通じて当事者が地域で暮らしていける土壌を作る。

⑫ ライフステージを通じた支援

当事者意見の発信
武蔵野市障害者計画・第5期障害福祉計画にも記載のあるとおり、ライフステージに応じた切れ目のない支援ができる土壌を作れるよう検討・協議している。

4 平成30年度地域自立支援協議会交流会のグループ討議

【発表内容】

①私たちは〇〇区市町村に戻ったら、 まず〇〇をします。	②なぜなら、(①に決めた理由) だからです。
高齢分野や障害など他分野と協議をする。	自立支援協議会以外の分野の方々と協働しなければならぬような課題がいくつかあるため。

【その後の実施状況】

4-1 その後の実施状況

実施中

4-2 具体的な取組状況

相談支援部会において、「障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行に伴う支援のあり方と介護保険部門との連携について」協議し、対応フロー作成に取り組んだ。また、高齢者部門を招いての勉強会を企画した。